

浜松市立図書館評価（令和元年度）

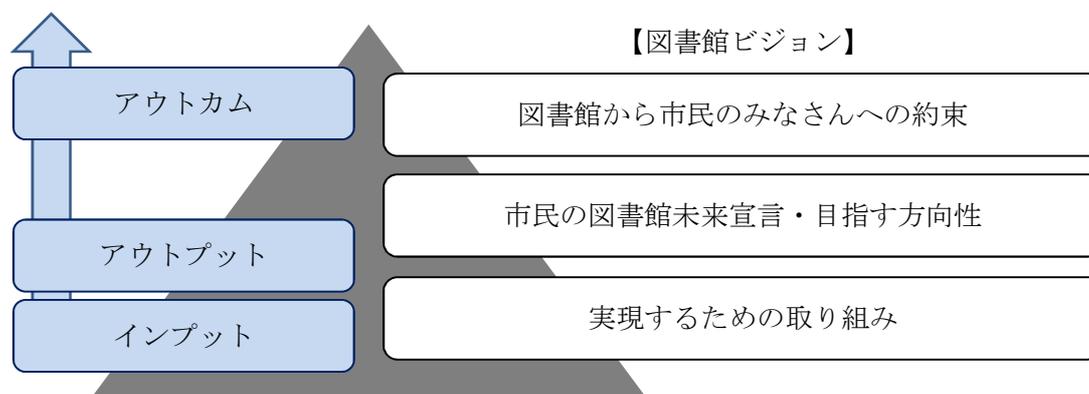
この評価は、平成30年10月に策定した「浜松市図書館ビジョン」に掲げている「図書館から市民のみなさんへの約束」の実現のために行うものです。

【図書館から市民のみなさんへの約束】

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

「図書館から市民のみなさんへの約束」実現のために、「市民の図書館未来宣言・目指す方向性」に沿って個別の事務事業を実施します。

事業を積み重ねることにより「図書館から市民のみなさんへの約束」を常に市民のみなさんが享受するとともに、図書館に対する満足度が向上することを目指します。



市民の図書館未来宣言評価シート（令和元年度）

市民の図書館未来宣言	【いかす】	外部評価	【 】	自己評価	【B】	平均評価点	【3.25】
-------------------	--------------	-------------	------------	-------------	------------	--------------	---------------

≪評価指標≫

指標	実績	目標	達成率	評価点	平均評価点
1 図書館HPアクセス件数 (件)	1,408,821	1,402,494	100.45%	4	3.25
2 市民1人当たりの貸出冊(点)数 (冊・点)	5.71	5.60	101.93%	4	
3 外国語資料の延べ利用者数 (人)	28,075	32,000	87.73%	1	
4 障がい者向け資料の延べ利用者数 (人)	13,678	13,368	102.32%	4	
5 利用に関するアンケート調査における満足度「館内の居心地、座席数等に満足していますか？」 (点)	4.01	—	—	—	—

≪目指す方向性・実践できた取組≫

<p>1 ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービス ・館内でのインターネット環境整備。</p> <p>2 貸出、返却サービスの利便性向上</p> <p>3 多文化サービスの推進 ・電子図書等を利用した多言語資料や日本語資料の充実と環境整備。</p> <p>4 多様なニーズに対応した環境づくり ・館内でのインターネット環境整備。</p>	<p>⇒ 中央と城北で公衆無線LANサービス開始。</p> <p>⇒ はままつ電子図書の本格運用による多文化共生資料の提供。</p> <p>⇒ 中央と城北で公衆無線LANサービス開始。</p>
---	--

≪利用に関するアンケート調査における主な意見≫

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語多読はたくさんの方が選べるので助かります。(中央) ・ 気になった本が予約でき、指定の図書館で受け取れるので、とても嬉しいです。どこの図書館でも返却できると助かります。(北) ・ 1回に12冊本を借りられるのは良いが、本を選んで持ち歩いていると重くて疲れてしまうので、カート(小さめ)があると嬉しい。(雄踏)

≪自己評価≫

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前から要望があったWi-Fi(公衆無線LAN)のアクセスポイントを、中央図書館(参考図書室)と城北図書館に設置した。 ・ 電子図書サービスの開始により、貸出返却サービスの利便性向上及び多文化サービスの推進につながった。 ・ 「外国語資料の延べ利用者数」については、平成27年度から多文化サービスの基盤づくりに取り組んだ結果、英語多読資料の充実が図られ利用が増加したが、平成29年度をピークに減少している。

今後に向けた課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ Wi-Fi(公衆無線LAN)のアクセスポイントの設置館拡大の検討。 ・ 多文化共生資料の継続的な収集。
--

≪外部評価≫

図書館協議会による意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和元年度）

市民の図書館未来宣言	【はぐくむ】	外部評価	【 】	自己評価	【C】	平均評価点	【2.00】
-------------------	---------------	-------------	------------	-------------	------------	--------------	---------------

《評価指標》

指標	実績	目標	達成率	評価点	平均評価点	
1 18歳以下の利用者カード有効登録率	(%)	40.13%	41.00%	97.89%	3	2.00
2 学校図書館への資料貸出冊(点)数	(冊・点)	10,312	12,600	81.84%	1	
3 ボランティア(読み聞かせボランティア)受入人数	(人)	222	238.00	93.28%	2	
4 利用に関するアンケート調査における満足度 「子供向けのサービス(おはなし会、ブックスタート等)」	(点)	4.17	—	—	—	/
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「講演会、講座、企画・テーマ展示等に満足していますか？」	(点)	3.84	—	—	—	/

《目指す方向性・実践できた取組》

1	子供の読書環境の充実 ～『子ども読書活動推進計画』の促進～ ・ 学校図書館補助員に対する支援事業の充実。	⇒ 研修会1回、参加 72人、連絡会5回、参加 82人、システム研修会2回、参加 119人
2	子育て支援サービスの充実 ・ 新たな実施方法による絵本講座の新設。	⇒ 全6回開催、参加者のべ59人
3	ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催 ・ 郷土研究講座の開催。 ・ 「シニアのための楽しい音読教室」の開催。	⇒ 前期:全3回、参加者のべ134人 後期:全3回、参加者のべ126人 ⇒ 2回実施、参加者70人
4	多様な資料の収集・提供 ・ マルチメディアデジター図書の購入、受入。 ・ 電子図書における多様な資料の収集・提供。	⇒ 購入48点、寄贈資料受入4点(令和元年度) ⇒ 電子図書資料数856点

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとおはなし会に参加し、子どもが本と触れ合う機会が増えた。私自身のリフレッシュとなりよかったですと思います。(西) ・ 体調が悪い時、病院に行くまでも無い時図書館で調べられるのでとても安心感があって助かっています。(はまゆう) ・ 専門書や業務系に関する本が多く、取り寄せもできるので助かっています。(南)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
<p>学校図書館システムの新機種導入に伴うシステム講習会や情報交換の場などを設けたところ、多くの担当者の参加があった(参加者数R1:287人、H30:168人)。講習会・連絡会がより円滑な学校図書館運営に資することで、子供達の身近な読書環境の整備に繋がることができた。</p> <p>新設した《絵本講座》は、従来型の講座(参加人数のべ39人)より参加数が多く「参加しやすい」と好評だった。講座単独ではなく他の行事と併せる(また申込不要とした)ことで、講座に対する精神的なハードルが低くなったと思われる。</p> <p>郷土研究講座(後期)(前期)では、中央図書館が所蔵する歴史資料(古文書)をテキストとして積極的に活用することができた。</p> <p>電子図書サービスの開始により、利用者(有効登録者のうち団体等を除く個人168,240人)は、場所や時間を問わず多様な資料を利用でき、読書環境の充実が図られた。</p> <p>「学校図書館への資料貸出冊(点)数」について、平成28年度～29年度にかけて、各校において教材研究を活発に行うなかで、「学習支援パック」の内容を参考にしながら図書資料を購入した。その結果、令和元年度については、学校図書館資料を活用した授業充実が図られており、浜松市立図書館からの貸出冊(点)数が減少傾向に転じたと考えられる。</p>

今後に向けた課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した学校との連携、支援。 ・ 各種講座については、アフターコロナの「新しい生活様式」に合わせた形で、今後どのように展開していくか方策を探る必要がある。 ・ マルチメディアデジターや電子図書等、多様な資料の継続的な収集。

《外部評価》

図書館協議会による意見

- .
- .
- .

市民の図書館未来宣言評価シート（令和元年度）

市民の図書館未来宣言	【つながる】	外部評価	【 】	自己評価	【A】	平均評価点	【4.00】
-------------------	---------------	-------------	------------	-------------	------------	--------------	---------------

≪評価指標≫

指標	実績	目標	達成率	評価点	平均評価点	
1 ボランティア受入人数(障がい者サービスボランティアなど)	(人)	745	709	105.08%	5	4.00
2 業務支援カードの利用による貸出冊(点)数	(冊・点)	678	600	113.00%	5	
3 デジタル化した地域資料のアクセス件数	(件)	2,362,788	4,000,000	59.07%	1	
4 自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	(件)	162	150	108.00%	5	
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「図書館職員による必要な資料や情報を見つけるお手伝い」	(点)	4.36	—	—	—	/

≪目指す方向性・実践できた取組≫

<p>1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民学習グループ(2団体)との協働による、中央図書館が所蔵する古文書の解説文作成。 <p>2 課題解決支援サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスサービスにおける商用データベースの提供。 ・ 国立国会図書館デジタルサービスの提供。 <p>3 政策立案支援サービスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会図書室所蔵資料を図書館システムへ登録し、検索、予約、貸出処理を可能にした。 ・ 市議会議員と市職員向けのテーマ展示を実施。 <p>4 地域・歴史資料の収集、保存、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央図書館が所蔵する歴史資料の展示 <p>5 自治体、企業、各種団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療健康情報サービスに関する連携講座実施。 	<p>⇒ 小冊子3種類を作成し、郷土図書として登録。</p> <p>⇒ 城北図書館に加え、中央図書館にデータベースを導入した。</p> <p>⇒ 2,546冊登録</p> <p>⇒ テーマ展示2回実施 期間は8月26日～10月23日及び1月9日～2月27日。</p> <p>⇒ 2階展示コーナーにて年3回開催(田畑政治展ほか)。</p> <p>⇒ 5回開催、参加者 162人</p>
--	---

≪利用に関するアンケート調査における主な意見≫

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館職員さんのすすめる本などの紹介があるとうれしい。職員さんに対するの親しみももてると思う。(三ヶ日) ・ 国会図書館デジタルサービスとのリンクが欲しい。(中央) ・ 郷土資料を読むことができる。本屋には置いていない昔出版された本を読むことができるのがとてもよいと思います。(都田)

≪自己評価≫

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会図書室所蔵資料の装備・登録が完了し、システム的な連携が取れるようになった。 ・ 中央図書館が所蔵する未解読の古文書が活字化されたことにより、資料のさらなる利用が期待される。 ・ 中央図書館が所蔵する歴史資料を展示することにより、資料の活用をはかるとともに、市内外からの来館を促進した。 ・ 連携による講座を図書館で行うことにより、図書館単独では実施できなかった内容の講座開催が可能となり、図書館を利用していなかった市民の参加が得られた。 ・ 「デジタル化した地域資料のアクセス件数」の減は、搭載資料が大河ドラマなど時事的な話題に結びつかなかったことによるものと考えられる。

今後に向けた課題

- ・ 市外も含めた、各種団体との積極的な連携の推進。
- ・ 古文書解読冊子作成等、市民学習グループとの計画的、継続的な協働。
- ・ 時事的な話題に関連した展示など、来館を促す歴史資料のより効果的な活用。
- ・ 議会図書室との連携展示の定期的な実施及び収集資料の選定、貸出等継続的な連携。
- ・ デジタルアーカイブ搭載資料を講座、展示で積極的に活用するなど、継続的なPR。

《外部評価》

図書館協議会による意見

- ・
- ・
- ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和元年度）

市民の図書館未来宣言	【つくる】	外部評価	【 】	自己評価	【B】	平均評価点	【3.25】
-------------------	--------------	-------------	------------	-------------	------------	--------------	---------------

《評価指標》

指標	実績	目標	達成率	評価点	平均評価点	
1 施設・設備の適切な整備・保全	(-)	—	—	4	3.25	
2 職員1人当たりの研修参加回数	(回)	4.23	4.54	93.08%		2
3 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等でのパブリシティ件数	(件)	56	35	160.00%		5
4 利用者カード有効登録率	(%)	21.22%	23.00%	92.26%		2
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「お近くの地域の図書館に親しみを感じますか？」	(点)	4.22	—	—	—	

《目指す方向性・実践できた取組》

<p>1 地域の実情に応じた図書館運営</p> <p>2 図書館マネジメントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央図書館のマネジメント能力向上に向けた窓口業務の直営化及び城北図書館の指定管理化を推進した。 <p>3 専門的職員の育成、確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立中央図書館等で開催される研修に職員を派遣し、レファレンス等のスキル向上や司書としての専門性を高めた <p>4 図書館プロモーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より広い層に親しまれるため、「はままつ図書館だより」の紙面を工夫。 ・ 図書館ホームページ及びツイッターでの情報発信による広報の実施。 ・ SNSを利用した広報。 	<p>⇒ 令和2年4月から実施。</p> <p>⇒ 市職員1人当たり 4.23回／年参加</p> <p>⇒ 図書館の機能や各種サービスを、イラストを活用し分かり易く紹介。</p> <p>⇒ HPでの各種情報の公開件数1,784件。ツイッターの発信回数823回。</p> <p>⇒ 新たに3館がツイッターを開始。</p>
---	---

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが借りたい本の概要をお伝えしただけで、著者も題名も分からなかったのですが、司書さんが探してくれた時には子どもともども感激しました。(東) ・ 自分1人で探すことができなかった情報をもとの数分で見つけていただいたことが何度かあります。またレファレンス利用させてもらいます。(駅前)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館施設整備・保全計画について、関係各課と調整を図った。 ・ 中央図書館の全館マネジメント力向上のために、市職員が窓口業務に携わる体制の構築とともに、業務マニュアルの見直しを行い、市内全図書館における窓口サービスのガイドラインを示した。 ・ 「はままつ図書館だより」として全市立図書館に対応できる内容に改めた。図書館全般に係る内容をイラスト等を活用し分かり易く紹介。 ・ 図書館ホームページでは、重要なお知らせだけでなく、各図書館でのイベント情報などの各種情報も随時更新、公開し、利用者への情報提供に努めた。

今後に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員の窓口業務に必要な知識やスキルの向上。 ・ ホームページにおけるよりの確な情報発信。 ・ 経験や内容に応じた研修への積極的な参加を図るとともに、参加職員は自らが講師となり自館の他の職員へ知識を共有する機会を作る。

◀外部評価▶

図書館協議会による意見

・
・
・

図書館から市民のみなさんへの約束

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

1 利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」

(満足=5、やや満足=4、ふつう=3、やや不満=2、不満=1とし、平均点を算出)

平成29年度	平成30年度	令和1年度
4.12	4.18	4.20

(点/5点満点)

令和1年度調査

調査期間: 令和1年9月1日(金)~20日(金)

調査対象: 図書館来館者(自動車文庫利用者を含む)

調査方法: 図書館窓口で調査票を配布し、回収箱により回収

回答者数: 1,439人

2 利用に関するアンケート調査における自由記述より「図書館を利用して得られた成果」

《主な意見(図書館を利用して「できたこと」「解決したこと」「よかったこと」など)》

- ・先祖の家系図を見つけることができ、関係先祖の詳細を理解できた。
ファミリーヒストリーを楽しく調べることができた。(中央)
- ・知りたかったこと、調べたかったことが解明できた。(駅前)
- ・子どもに、インターネット以外で、疑問点や不明な事柄の調べ方を教えたところ、
確実に国語力が向上した。(南)
- ・子どもの調べ学習の資料を揃えることができた。(西)
- ・子どもが、本を好きになった。(積志)
- ・裁縫、手編みの本を借り、孫の洋服やパジャマなどを作った。(東)
- ・片付けの本を借り、部屋を片付けることができた。(引佐)
- ・資格取得のための勉強や資料作成などを、自宅や職場以上に集中して効率よく
取り組むことができた。(はまゆう)
- ・仕事の課題解決のために調べることができた。また、自分を磨いたり、自分の方法が
合っているか確認することができる。(南陽)
- ・図書館で、きっかけを探せるところがよい。(三ヶ日)
- ・「自宅周囲の昔の事」について調べようとした時、図書館の資料が豊富であり、
納得いくまで調べることができた。(浜北)
- ・子どもが、本の貸し借りの方法を身に付けることができた。初めはDVD視聴目的
だったが、次第に図書館に通う習慣が身に付いた。(雄踏)
- ・近くの図書館にない本でも予約し、市内の他の図書館から取り寄せることができるので、
多くの本を読むことができ、大変良いことだと思う。(春野)

《参考:「図書館から市民のみなさんへの約束」実現に向けたインプット》

1 経費に関すること		
(1) 図書館費	R1決算	1,458,800 千円
市民1人当たりの図書館費		1821.52 円/人
貸出冊数1冊・点当たりの図書館費		319.11 円/冊・点
(2) 図書購入費(資料収集事業)		114,371 千円
市民1人当たりの図書購入費		142.81 円/人
2 資料収集に関すること		
(1) 資料数		2,598,495 冊・点
市民1人当たりの資料数		3.24 冊・点/人
一般ほか資料数		1,630,432 冊・点
児童資料数		603,224 冊・点
外国語資料数		17,623 冊・点
郷土資料数		172,875 冊・点
視覚障がい者用資料数		15,219 冊・点
AV資料数		49,977 冊・点
3 ソフト事業に関すること		
(1) 一般向け講演会・講座など回数		269 回
(2) 子供・親子向け講演会・講座など回数		289 回
(3) 企画展事業数		95 本
(4) 学校支援に関する講演・講座・コンクールなど回数		39 回
(5) ブックスタート実施回数		373 回
(6) おはなし会実施回数		1,292 回
(7) ボランティア養成講座回数		77 回
4 運営に関すること		
(1) 職員研修の実施及び派遣件数		49 件
(2) 図書館利用促進活動の件数		81 回